

矢口 龍人 議員



Q 複合交流拠点施設整備等、大規模開発事業の進め方について伺う

A 本施設整備は市長選挙当選時の公約であり、責任をもって計画通り進めております

Q 複合交流拠点施設整備のような大規模開発事業は、計画前の段階から、市長、副市長に市の幹部職員を加えた各種会議に諮り、必要に応じてその下部組織を設置し、検討が繰り返され、並行して市民には議会へ報告をしていくのが通例ではないでしょうか。この事業において組織内で情報の一元化を図らず、一部の職員が水面下で進めたのはなぜなのか伺います。

A 市長公室長 複合交流拠点整備につきましては、市長の公約の1つですので、本事業の推進については、行政組織内において、職員の共通認識となっております。行政が行う事業では、初めに事業担当課が主立った計画を作り、その事業を進めるに当たり、調整が必要な部分について、関連部署と調整、協議を行いながら、事業の速やかな進捗を図っていく形が本来の姿となっております。本事業につきましては、関連部署と調整は行ってきたところですが、計画を表に出す事については、事業の主立ったものが出来上がらないと調整もできませんので、そういった部分もあるかと思えます。

Q 市民に丁寧な説明もないまま、複合交流拠点施設整備を急ぐのはなぜなのか伺います。

A 市長 本事業は選挙当初からの公約であります。特に急いでいるといったことはなく、計画通り進めているところであります。施設用地の取得につきましては、3月に予算を組んでおりますので、本議会ですれが承認いただければ、令和4年6月に用地の売買契約を締結する考えです。

21 市長の任期中の複合交流施設用地契約の必要性について土浦市との合併について

質問通告事項



宮嶋 謙 議員



Q 小学校の活用は市民の意見を聞いて検討すべきではないか伺う

A 地域の皆様と協議して進めていきたい

Q 千代田中学校区の小学校(廃校)利活用に関する説明会では、「最初から売ることが決まっているのではないか」「これで市民の意見を聞いたと言えるのか」と、市民から厳しい意見がたくさん出されました。「売却前提ではない」「市民の皆さんの意見を聞いて、これから検討していく」ということであれば、改めてそのように皆さんにお示しいただきたい。

A 参事 誤解を受けるような書類のつくり方ですとか説明内容につきましては、非常に反省するところです。今後公的利活用について各庁内関係課へ利活用の提案等を行いながら協議し、また、地域の皆様と協議して進めていきたいと考えております。

Q 本年4月から、旧霞ヶ浦町エリアが総務省によって過疎化地域の指定を受けることになりました。地域振興、観光活性化、もってできることがあったのではないかと、私の反省も含めて申し上げておきます。しかしながら、過疎指定を受けたことにより、財政的な支援も受けられません。これを機会に定住人口が増加するように施策を積極的に打っていくべきではないか伺います。

A 市長公室長 産業の振興、観光レクリエーションの振興、生活環境の整備、地域文化の振興など、多岐にわたる振興策が考えられます。地域に合った内容で計画を考えて、十分にポテンシャルを見極めながら協議をし、計画を作って進めていきたいと考えております。

質問通告事項

1 千代田中学校区の小学校利活用と地域「コミュニティ・避難所の確保について

2 霞ヶ浦地区の過疎地域指定と今後の振興策について



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、質疑応答を通常90分の持ち時間で行う一般質問は、45分に短縮して行いました。

21 複合交流拠点施設等整備及び都市公園整備について
 質 問 通 告 事 項

Q 複合交流拠点施設の整備は、中心市街地全体に強いインパクトを与え、交流人口の増加など地域の賑わいを創出し、市の魅力や価値を向上させ、移住・定住者の増加にも繋がります。将来を見据えた持続可能なまちづくりのため、未来への投資でもあり、市民は一日も早い実現を期待しておりますが、市長の考えを伺います。

A 市長 本年度の基本設計業務では、市民の意向把握業務や参入企業への調査を経て、様々なニーズや課題が見えてきました。来年度の実設計業務に活かし、市民の皆様の期待に応える施設を整備できるように、進めてまいります。

Q 交流人口の増加のため、古民家江口屋などの市内宿泊施設等で人材育成型・農業研修型ワークショップの実施やサテライトオフィスの誘致に力を入れていくとのことですが、そのためには市内の宿泊施設やワークスペースの環境整備が必要であると考えます。令和3年度に調査を行った農村環境改善センターの利活用は、リノベーション(改装工事)を前提としたものかと思われませんが、どのような内容なのか伺います。

A 産業経済部長 施設の機能と役割を今一度見つめ直し、リノベーションしていくことが必要かと考えております。施設単体の運営ではなく、隣接する歩崎森林公園をはじめとする周辺施設と連携した一体的利用による相乗効果を求めることが必要であり、このような観点を捉えながら、施設活用の方向性のコンセプトに掲げる「アクティビティ」「ワークプレイス」の二つのキーワードを体現できる施設のリノベーションに向けて、引き続き慎重かつ速やかに協議を進めてまいります。



久松 公生 議員



Q 複合交流拠点施設整備のこれまでの経過と進捗状況について伺う

A 調査結果を基に市民の皆様の期待に応える施設整備を進めてまいります

3 新型コロナウイルス感染症対策について
 21 新型コロナウイルス感染症対策について
 質 問 通 告 事 項

Q 市長及び副市長の決裁印がある平成29年3月3日廃棄物に関する(株)日立製作所との覚書起案書において、廃棄物埋設の事実が記載されている、これを隠蔽した仕様書による不動産鑑定書の作成と議会への報告は虚偽報告に当たる、如何ですか。

A 市長公室長 道路整備で埋設物が確認され、候補地内にも埋設されている可能性があることから、合意書については、建物の解体、埋設物の撤去、さらに土壌の分析を行うこととしています。



設楽 健夫 議員



Q 市内教育・保育施設等の新型コロナウイルス感染症対策について伺う

A 感染状況などを考慮しながら対応を図っているところです

Q 幼稚園、保育園、小中学校の園及び学級閉鎖、放課後児童クラブの状況と対策について伺います。

A 保健福祉部長 以前からご質問をいただいております霞ヶ浦南小学校の放課後児童クラブにおける感染対策につきましては、現在クラブの一室として活用しているランチルームをふだんより広く使うことなどにより、児童一人一人の間隔が広く取れるよう、感染状況などを考慮しながら対応を図っているところです。中学生のワクチン接種率は、3学年全体として、2月末現在、87・6%の方が接種済みです。中学3年生は、受験を控えていることを考慮して、昨年秋季に55・6%の方が優先的にワクチン接種をしており、2月末時点では92・5%まで接種率が上がっています。

佐藤 文雄 議員



Q 日立製作所の社宅敷地内の廃棄物処理について市長の見解を伺う

A 周辺から建築廃材が出てきたことは報告を受けています

Q 平成29年3月2日付の起案書に、「平成27年12月22日に日立製作所と都市計画道路用地として売買契約した土地の一部から廃棄物が確認された。工事発注済み区間のうちから廃棄物が確認され、埋設状況から旧筑波ハウス駐車場敷地の広範囲に埋設されると判断する」と書かれております。市長は、このことについては十分に理解していましたが、それと同時に、反対側にプルミッコ保育園がありますが、そこにも日立の土地が一部かかっています。その土地からは建築廃材が出ています。市長は、建築廃材が出ていたというのは分かっていたのではないですか。

A 市長 実際に、あの周辺からそういったものが道路整備で出てきたことは報告を受けています。

Q 憲法26条に、義務教育は無償ということに関わって保護者負担の解消について、伺います。特に、教材費の私費負担はやめるべきではないでしょうか。

A 教育部長 学校給食の無償化を検討する場合と同様に、そうした費用を無償化するのには、安定的な財源確保という面も含め、現状では難しい状況であると考えております。

質問通告事項
1 複合交流拠点施設をより良いものに整備することについて
32 市の少子化対策について
 稲作農家への支援について



▲都市計画道路神立停車場線

小倉 博 議員



Q オンライン学習の対応状況について伺う

A 児童生徒の家庭のWi-Fi環境の改善や教職員のスル向上を行っております。

Q コロナ禍で小中学校が休校等になった際、オンライン学習が実施されましたが、児童生徒と先生方それぞれの対応について伺います。

A 教育部長 小学校の2月の臨時休校期間は、Wi-Fi環境のない児童に対し、各学校で児童を受け入れ、学校のWi-Fi環境の下、1人1台のタブレットを使ってオンライン学習を進めておりました。また、Wi-Fi環境のない各家庭にモバイルルーターの貸出しについて周知を行い、希望者への貸出しも開始しております。教職員につきましては、授業の様子をオンライン配信してそれぞれの学校で視聴し、遠隔で研究協議をするなど、スキルを学ぶ機会を設けております。また、それぞれの教職員の実践を共有するために、学校教育課で情報を共有するホームページを作成し、そこに実践を書き込むことで、1人1台端末を使つての指導方法を確し合い、教職員のスキルの向上につなげております。

Q 市として取り組んでいる空き家対策の現状と今後の取組について伺います。

A 市民部長 本市といたしましては、空き家になってしまったからの対策と同様に、空き家にならないための予防策を講じていくことも重要であると考え、空き家の予防に関する出前講座を行っております。また、空き家になる大きな要因の一つに、家屋や敷地の相続問題があることから、空き家無料相談会を開催し、相続に関することについて、不動産会社の方や弁護士、司法書士等の専門家に相談できる場を設けており、今後もこの活動は拡充をしながら継続していく考えです。

質問通告事項
321 通学路の安全について
1 空き家対策について
2 オンライン学習の進捗状況について



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、質疑応答を通常90分の持ち時間で行う一般質問は、45分に短縮して行いました。

質問通告事項
1 新型コロナウイルス変異株「オミクロン株」への対応と支援策の拡充について
2 鳥インフルエンザについて

中根 光男 議員



Q 新型コロナウイルスに感染した自宅療養者の対応について伺う

A 自宅療養者の声に耳を傾け、対応を検討しております

Q 新型コロナウイルスに感染した場合、自宅療養者が安心して療養できるような体制・環境づくりが、今、最も求められている現場の声であり、特に小さい子どもがいる家庭については細かい配慮が必要ではないでしょうか。市の対応について伺います。

A 保健福祉部長 各自宅療養者へのきめ細やかな対応については、委託業者では対応が難しいものですから、例えば、子供のミルクやオムツなどの必需品が不足した場合などは、職員が直接置き配で配付するといった方法で素早く対応できないか、検討しております。

Q 鳥インフルエンザ予防のための個別巡回指導ですが、これは市として実施しているのか、それとも県なのか、何回ぐらい実施して、どのような指導をしているのか伺います。

A 産業経済部長 養鶏農家への巡回指導につきましては、茨城県、具体的には県南家畜保健所の獣医師の資格を持つ職員が定期的に巡回指導を行っております。市も同行を求められた場合には同行しまして指導しております。具体的な指導の内容でございしますが、飼養衛生管理基準というのがございまして、幾つか申し上げますと、農場に立ち入る際の手指消毒がされているかどうか、また農場に専用の衣服及び靴が設置されているか、あるいは使用されているか、農場に立ち入る際の車両の消毒等を行っているか、それから野生動物侵入防止のためのネット等が設置されているか、定期的に点検がされているか、あとはネズミとか害虫等の駆除、こういったものが実施されているかというところが点検項目となっております。



来栖 丈治 議員



Q ごみのポイ捨てがどんどん増えている傾向だが、対策について伺う

A 移動式の防犯カメラの設置を検討します

Q 今後の清掃活動の実施計画と、一斉清掃時の市役所職員の清掃活動の現在の状況、及び、不法投棄防止の対策について伺います。

A 市民部長 行政区単位で密集、密接を避けるため、年3回の清掃を行政区内で分けて実施する、または1回の清掃を何週かに分けて実施するなど、新型コロナウイルスの感染予防対策を考慮する必要がありますと考えております。また、職員による清掃は、関東地方環境美化運動の日に実施しておりますが、ここ2年は中止しております。今後は感染予防対策として、少数単位で行動する方法で毎年実施を考えております。また、不法投棄防止のため、啓発看板を作成し、希望する地権者にお渡ししてきたところで、再度区長等へ周知し、看板設置の協力をお願いしたいと思っております。さらに不法投棄のひどい場所では、移動式の防犯カメラを設置するなど有効な対策を検討します。

Q 増加傾向にある荒廃農地に対して、市はどのような対応を考えているのか伺います。

A 産業経済部長 市としては、農地中間管理事業による農地の貸手と借手の仲介を行うほか、国・県や市再生協議会の事業を活用した農地再生事業の実施、さらには新規就農者への支援など、担い手の育成を図るとともに、新たに大規模な農地活用を行う企業の農業参入の誘致を進めてまいります。また、現在イノシシなど鳥獣による農作物被害の軽減を目的とした有害鳥獣捕獲事業に取り組んでおりますが、荒地の増加が鳥獣の隠れ場所の増加につながってしまうことから、地域の方々に、自衛対策として防柵の設置と併せ、休耕地の定期的な管理をお願いしております。

質問通告事項
1 郷土の美しい自然環境や生活環境を守っていく施策について
2 令和4年4月から霞ヶ浦地区が過疎地域として指定されるが、今後の財政支援や政策の変化について

